

(第8号様式)

令和3年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年 S 目標年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
							用地費	進捗率				
道路事業	1	一般国道477号 菰野バイパス	三重郡菰野町	③	【全体事業概要】 延長 L=2.0km 幅員 W=6.50m(11.25m) 【事業目的】 ・高規格幹線道路等へのアクセス改善 ・現道交通の分散化を図り、円滑な交通を確保	H20	3,800	16%	【実施済事業内容】 平成29年度から用地買収に着手しています。 【残事業内容】 用地買収 工事 延長 L=2.0km	湯の山温泉は年間約180万人が訪れる観光地であり、平成31年3月の新名神高速道路菰野ICの開通を機に「御在所ロープウェイ」のリニューアルや、「湯の山かもしか大橋」の開通など官民において様々な取り組みが行われていることから、観光地へのアクセス道路の整備がより必要となります。 また、本事業の近隣において菰野IC周辺における工業系用地及び住居系用地の開発に向けて菰野インター周辺地区土地区画整理事業が事業中であり、将来的な交通需要の増加が予想されます。 このような菰野バイパスを取り巻く社会情勢の変化から、本事業の必要性は依然として高い状況にあります。	【費用対分析効果】 B/C=3.8 【コスト削減】 橋梁には耐候性鋼材の使用を検討し、塗装費用の削減に努めます。また、維持管理費を抑えるため、法面の一部に張コンクリート施工します。 【代替案】 計画ルートについては、事業延長や既存家屋への影響などをもとにルート案を比較、検証しています。現計画ルート案が経済的に最も有利であり、また、すでに約70%用地買収が完了していることから、現計画案を進めています。	令和14年度の全線供用に向け、事業を推進します。
						S	3,176	0%				
						R13	624	68%				

(第8号様式)

令和3年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町村名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年 }	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
							目標年 }	用地費				
道路事業	2	一般国道368号(上長瀬)	名張市	③	<p>【全体事業概要】 延長 L=2,000m 幅員 W=6.0m(9.75m)</p> <p>【主要構造物】 橋梁 N=3橋</p> <p>【事業目的】 ・緊急・災害時の復旧・復興に資する道路整備 ・安全・安心・快適な道路環境を確保する道路整備</p>	H19	1,934	62%	<p>【実施済事業内容】 ・H28年度までに1,140m開通済み(1号橋含む)</p> <p>【残事業内容】 延長 L=860m 主要構造物 橋梁 2橋</p>	<p>国道368号は、平成8年から第2次緊急輸送道路に指定されており、平成24年度には伊賀市において全国からの応援部隊・救援物資等の受入窓口としての役割を担う三重県広域防災拠点が整備され、平成31年4月には路線の一部が「重要物流道路」に指定されています。前回の再評価以降、必要性に大きな変化はありません。</p>	<p>【費用対分析効果】 B/C=2.4 【コスト削減】 整備後の維持管理コスト削減対策として、鋼橋に耐候性鋼材を使用し塗装費用の削減及び道路沿いの防草対策で張コンクリートを行い草刈に要する維持管理費の削減を行います。 【代替案】 現道拡幅の場合、地形が急峻であり現道の通行への影響が避けられないため、バイパスの現計画が最適と考えられます。</p>	令和9年度の供用開始に向け、引き続き事業の進捗を図ります。
						R8	211	99.9%				

令和3年度三重県公共事業再評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済情勢等の動向	費用対効果分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
目標年	用地費	進捗率										
港湾海岸高潮対策事業	4	長島港海岸	紀北町	③	<p>【全体事業概要】</p> <p>呼崎名倉地区 堤防(補強) L=1,030m 離岸堤 L=300m(3基)</p> <p>西長島地区 堤防(補強) L=743m 陸閘改良 N=2基 地盤改良工 L=192m</p> <p>中ノ島地区 護岸(新設) L=1,180m</p> <p>【事業目的】 当海岸の既設護岸は、老朽化が著しいことから、高潮や高波により護岸が崩壊し、背後の人家密集地域が浸水被害を受ける恐れがあります。 このため、海岸保全施設を整備し、高潮や高波による背後地の浸水被害を未然に防ぐことで背後地の生命・財産を守ることを事業目的としています。</p>	H2	3,990	92.4%	<p>【整備済み内容】</p> <p>呼崎名倉地区 堤防(補強) L=1,030m 離岸堤 L=300m(3基)</p> <p>西長島地区 堤防(補強) L=743m 陸閘改良 N=2基 地盤改良工 L=192m</p> <p>中ノ島地区 護岸(新設) L=874m</p>	浸水防護区域は、前回評価時から依然として人家が密集しており、防護の必要性に変化はありません。	<p>【費用対効果分析】</p> <p>全体 B/C=19.1</p> <p>【コスト削減】</p> <p>中ノ島地区では、施工背面に人家が密集しており、陸上から重機を搬入することが困難でしたが、一部の区間において地元の協力を得て海上工事から陸上工事に変更しコスト削減を図っています。</p> <p>【代替案】</p> <p>中ノ島地区では、老朽化が著しく補強や補修による護岸改修は不可能であることから、前面に新たな護岸を整備することとしています。 本工法の採用にあたっては、自立矢板式、控えアンカー式、コンクリートブロック式の3つの案を比較検討し、最も経済的な案となる自立矢板式の工法を採用しているため、現計画で整備を進めることが妥当であると判断しています。</p>	引き続き事業の進捗を図り令和6年度の完成を目指します。
						∩	3,990	92.4%				
						R6	-	-				